

はばたけ

NO 53

2000年9月29日発行

栃木障害者の自立をめざす会

《 会員数 現在270名 》

事務局：〒328-0075 栃木市箱崎町51-41 中山全央 TEL 0282(23)3236



森の動物たち

福祉ショップで、星さんにクッキーづくりを教わる仲間たち

特集：余暇活動の取り組み②

施設建設運動～市・県との協議進行

社会就労センター・セルプ杜（横浜市）見学

施設建設に当たって

平成12年9月28日

会長 中山 全央

会員の皆様には、大変お世話になっております。光陰矢のごとしと申しますが、早いものでした。障害を持つものも入所施設ではなく地域で生きていけるような施設建設を願って、ゆうの家ショップ、共同作業所ゆうの家、そして今回の就労センターゆうの家とデイサービスセンターなすびの里の建設と、私どもの歴史を見れば、発展していることは事実であります。しかし、障害を持つものが地域で生きていくにはまだ不十分で障害児・者を持つ親御さんにとって不安を持つことは、私も同様です。

今日まで進めてきた施設建設は誰のためにあるのでしょうか。いつもこの命題を心に刻みながらも、頭をもたげるのは、親の元気なうちにこの子の将来を見据えたいとか、将来を考えると入所施設建設を展望するようにとの意見が出されますが、これが本当に障害児・者の立場に立った発想になっているのか疑問に思っています。施設建設委員のT氏からは親は我が子の発達を阻害するものの一つだよ、と言われ続けている者からすれば、子どもの元気なうちはあくまでも地域の中でサービスの向上を図り、グループホームの施設充実とバックアップ体制の充実を研究してゆきたいと思っています。現在会員の状況を考えれば、これまでの自立の会の目的通り地域に土着し生活が出来るような施設づくりを進めて参ります。

ですから今回の社会福祉法人を取得してからが、私どもの真価が問われるのであって、サービスの充実向上のため皆さんの英知を出し合っていただきたいと思います。

さて、先日栃木県に施設建設の協議書を提出しました。これは私たちの事業を公式に表明したもので、これをもって施設建設が完了するものではありません。これからが正念場でありまして、中でも施設建設の資金確保は重要であります。

今後は、設計の細部の検討と、授産課目の細部の討議、地域住民との協議、土地改良区との協議、農業委員会との協議など、大変な仕事量をこなすことになります。

最後になりますが、運動方針への団結と諸会議の成功、何よりも皆さんの健康に留意されることをお願いして、輝かしい平成14年4月1日（開所予定日）をめざしたいと思っています。

施設建設募金のカラーパンフレットができました

十分に活用して、ぜひとも5000万円募金を達成しましょう！

53-1

社会就労センター・セルプ社を見学して

大場 英一

畑から

星 健二

作業所の如では、秋野菜の収穫がそろそろ始まろうとしています。大根（3品種）、いんげん、スティックセニョール、ブロッコリー（2品種）、キャベツ（2品種）、白菜（2品種）、春菊、ねぎと種類・量ともに去年より多く作付けをしています。また、ナスは11月まで収穫できるようにと入念に手入れをしています。（先日、ナスの収穫中にヘビに遭遇ししばらくはナスには近づけなかったのですが）

畑で収穫した野菜のほとんどは、福祉ショップ「ゆうの家」で販売をしています。近くに八百屋もあれば野菜のディスカウント店なる強敵もあるなかで、朝とった野菜のほとんどはその日のうちに売れています。これは、ショップが「売るため」の努力・工夫をしてきた成果だと思います。山中さん、関谷さんのご苦労もさることながら、4月から“真知子店長”を迎え、ショップが日々「お店らしく」なってきたと感じているのは、私だけではないのでは。たかが野菜ですが、ショップがモノを売るノウハウを蓄積し確立していくことは、私たちの運動にとって今後ますます重要になっていくことでしょう。それこそショップがマーケティングに関する情報の発信基地になれば。

さて、今年は冬から春先にかけても野菜の収穫ができるようにと、年末にビニールハウスの補修を予定しています。ぜひ、皆さん方のお力をお貸しいただけますようよろしくお願いします。

□秋野菜収穫予定

10月	11月	12月
トウモロコシ ナス		
	だいこん	
	豆付ヒヨコ	
	ブロッコリー	
	はくさい	
		キャベツ

□秋野菜人気 Best3

- 第1位・スティックセニョール
（何といっても人気No1）
第2位・いんげん
（とるのが大変だけれどうまい）
第3位・聖護院だいこん
（煮物に美味しい丸だいこん）

去る8月18日、法人設立後のゆうの家で予定している畑・パン・クッキーづくりに取り組む「社会就労センター・セルプ社（もり）」の仕事を視察した。

栃木県の人口に匹敵する200万都市横浜の南方に位置するセルプ社はバス停を降りてすぐ目の前の3階建ての建物である。1階は喫茶部とデイサービス等があり、2階はフロア全体が地域に開放された、会議や調理実習等の文化活動ができるホール（貸し部屋5カ所）である。ここを利用する地域住民が1階の喫茶部で昼食の注文をしたり、田野自主製品等の買い物をして行くという姿を多く目にする事ができた。そして3階部分が授産部門となっている。

授産部門は喫茶の他、パン、麺（うどん・そば・ラーメン）、豆腐、菓子、陶芸、農芸と7部門あり、収益合計は月400万円、平均工賃は3万円とのことであった。3階の作業場は、横浜市という特殊事情もあり基準面積の1.5倍。職員配置も製麺部門で職員2名に対して仲間5名、菓子（クッキー等）部門で同4名に対して9名等恵まれた条件下で行っていた。尚販路については、他へ流さずに売店（分場）を町に展開させていく構想を持っているということであった。

さて、ゆうの家でセルプ社とほぼ同様の授産部門に取り組みむ場合、

①設備・備品の整備

厨房機器を上手に組み合わせて導入し、冷凍物と生とを併用することで即注文に応じられる体制をとりつつ、障害者の中・軽度者が幅広く参加できるような手作業の部分を整える。また、商品のネーミング、包装等の具体化を進める。

②指導計画の整備

製麺・パンを担当する主力メンバーは、9時には始業、レシピを見ながら作業が出来る程度の高い作業能力が求められる。一方、デイサービス利用者の作業訓練の場ともなる他の部門も含め、全体を数グループの作業班に分けて計画を整備していく等の事を検討して進めていく。

措置と利用の違いはあるが、各人にあったカリキュラムを選択できるように、全容を早急に明らかにしていきたい。

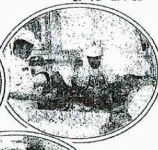
【麺部門】



【喫茶部門】



【パン部門】



【陶芸部門】



【お菓子部門】

53-2

特集：余暇活動の取り組み②

親子三人で車いすダンスを始めて

山中一男

車イスダンスを始めたきっかけは、自立の会で取り組んでいるチャリティーダンスパーティーです。夫婦ともこれまでダンスをやったことがなく、見ているだけでした。情けないね～ということから、二人ともそれぞれ合った時間でお互いの場所でダンスを習い始めました。

そのうちに車イスダンスの話になり、楽しそうなので、おもしろ半分に練習を始めたところ、けっこうのめり込んでしまいました。和江も、車イスダンスの話がちょっとでも出ると、「ババ、ババ、ババ！」と言って頭を下げ（初めの挨拶をする動作）、「ババ、ババ、ババ！」と何度も会話の中に入り込んでいます。毎月第一・三・五週の日曜日には、ダンスに出かけるのに着替えると、「ババ、ババ、ババ！」と頭を下げ、手を上に横に動かしてまわりのみんなに教えています。

英輔も宏允も大きくなり、安心して三人で出かけることができるようになりました。もう一つの楽しみは、ダンスの帰りに三人で居酒屋に寄ること。いつものように「ババ、ババ、ババ！」と話をしてお酒を飲んで、「いいネ、ババと」と言われて喜んで…。そんな三人の絆が車イスダンスによって一層深まりました。

これからも、仲間たちといつまでも楽しく続けられたらいいなと思っています。



和江さん(中央奥)とお父さん(前列右)と宏母さん(前列左)

私とダンスと家族と

中山 裕和

お姉さんと踊る裕和さん(右)



私は一年ほど前から月2～3回車いすダンスを習っています。何で習うようになったかはよく覚えていませんが、気がついたらそこにいたという感じです。今では「車イスダンスサークル笑(えび)」という形で活動しています。年に何回かダンスパーティー等を行い、一般の方々ともふれ合いを持っています。ここでは、私がこの一年ダンスを通して教えられたことをちょっと書きたいと思います。

まず一つめは、感情を表現するのにダンスというのはすばらしい手段だということ。喜びを表現する場（いわゆる晴れ舞台というものです）は、誰にとってもそう多くあるわけではありません。ましてや障害を持っている人たちにとっては、そういった場は本当に少ないものだと思います。しかし車イスダンスは、その晴れ舞台としては打ってつけだと思います。一生懸命練習した成果を協議会などの舞台で発表する。とてもすばらしいことです。その結果として表彰されたりすることで、また練習してより上をめざそうという向上心につながるわけです。

二つめは、ダンスを通して人は変わるといことです。普段、休日はあまり家から出られない人や、恥ずかしがりやな人が、車いすダンスを通して、毎回ちゃんと参加したり大きな大会でいさつをしたりする。少しずつ少しずつ変わっていくのがみんなの目で見てわかります。

三つめは、健常者と障害者との壁をなくすのに、ダンスというのはとても役に立つということです。この間、茨城県の水海道市にある施設に行き、そこで車イスダンスを踊ってきました。そこでは私はまったく知らない人とダンスをしました。しかしその人は、私とダンスをしている時でもうれしそう表情をして下さったのです。その瞬間、私はこれまでダンスを習ってきたよかったと思いました。まったく知らない障害者の方と手を取り合ってダンスをする。今まで練習の成果を存分に出すことができ、本当によかったと私は思いました。

私はこの一年間ダンスを通して学んだことが本当にたくさんありました。これも庄崎先生、高根沢先生のご指導があったからだと思います。これからもどうぞよろしく願いいたします。そして「笑」のみなさん、これからも仲良く「ダンス」していきましょう！



谷田 美佐子

「ゆうの家まつり」が成功裡に終わったとき、「ふれあいのつどい」が無事終りほっとしている時、自立の会の総会が終わったとき、雅江は必ず中山会長のそばへ行き、身振り手振りで

「カラオケに行こう！カラオケに行こう！！」とせがみます。

会長は、本当は早く家に帰って休みたいところを雅江にせがまれるといやと言えず

「よし行こうぞ！！」

「オッー！！」（雅江）ということで、もう何回会長とはカラオケに行ったことでしょうか？

中山家と我が家でご苦労さんを兼ねてのカラオケです。お父さんたちは、ちょっぴりアルコールが入り上機嫌！！今日の行事の反省をしながら、めいめい思い思いの歌を唄い1日の疲れを癒します。そんな中一番大声を張り上げて唄っているのは、もちろん中山会長です。アルコールが回ってくると、遂には踊りだすのも会長です。

そんな様子をみながら雅江はとっても上機嫌で、体を前後左右に揺さぶりながらみんなの歌を聞き、そして会長と一緒に踊ります。

まるで雅江も一緒になって今日の成功を喜び、明日への活力を養っているようです。

とにかくカラオケ大好き・・の雅江ですが、大きな行事の後にせがまれて否応なしに行くカラオケも、行ってしまえば全員大いに盛り上がり楽しいひと時を持つことができます。雅江は、きっと我々の1日の疲れを取るべく

「カラオケに行こう！！！！」と言ってくれているのかもしれませんが。そして明日への活力を呼び起こしてくれているのでしょう。

お菓子作りで

星 初江

私のお菓子作りのモットーは「安く」「簡単に」「おいしく」ということです。材料費が高くなってしまうと買ったほうがよくなってしまうので、小麦粉・砂糖・マーガリンは安売りのときに買いだめをしておき、くるみ（ナッツ類）は業務用を購入して冷凍保存しておきます。そして作る手間と後片付けを考えて用具をあまり使いません。それでいて味はプロに負けないくらいのおいしいクッキーが出来上がります。

クッキーを丸めるときは、子供たちに手伝ってもらおうと、粘土をこねるようにとても上手に丸めてくれ楽しくクッキー作りができますと思います。

家事を済ませたあとのほんのひと時や、秋の夜長本を読みながらコーヒーマーガリンに“ルシアンクッキー”をひとつ添えると、一日の疲れが取れストレス解消にもいいかもしれません。またかわいくラッピングをしてプレゼントしても喜ばれると思いますよ。

ルシアンクッキー

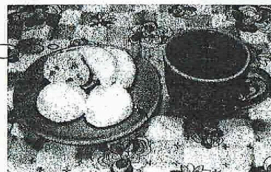
材料

- A
- 小麦粉……300g
 - 砂糖……70g
 - 塩……少々
 - バニラエッセンス……少々
 - くるみ（砕く）……100g
 - マーガリン……225g
 - 粉砂糖……適量

作り方

- 1 ボールにAの材料を全て入れ手でこねまぜる。（手につかなくなるまで）
- 2 1をラップに包んで冷蔵庫で30分以上寝かせる。
- 3 2の生地を50～60個を目安に手で丸める。
- 4 3を鉄板に並べ150℃で30分焼く。（焼くと生地が膨らむので間隔をあけて並べる。）
- 5 焼きあがったクッキーをよくさまして、粉砂糖をビニール袋に入れ10個ぐらいづつまぶす。

粉砂糖がとけやすいので、秋から冬の季節に作ることをお勧めします。



ゆうの家ニュース

■ 自立の会 役員会報告 9月16日 (報告 小島 幸子)

■ 第1回栃木市障害者施設協議会交流会■

昨年度までは栃木市作業所協議会という名称でしたが、今年度からゆーあい工房が加わり、新たに栃木市障害者施設協議会(略称: 栃障協)として発足した会の第1回交流会が、9月5日(火)に運動公園総合体育館で開催されました。各施設の職員が、何度も会合を重ねて計画を練り、今回は運動会形式の交流会になりました。

ゆうの家の仲間たちも広々としたコートで「色板合わせ」「玉入れ」「玉転がし」「風船バレー」「福笑い車椅子リレー」などの競技に参加し、楽しみました。

他施設の皆さんとはいろいろな機会に顔を合わせていますが、今回は施設間の枠を取り払っての紅白試合でしたので、より交流が深まったのではないかと思います。仲間たちが、他の施設の仲間たちと「しばらく」「元気？」など歓談する場面も見られました。来年は仲間たちだけではなく職員の出し物や出番をもっと増やしていただくと、より盛り上がるのではないかと思います。

最後に「がんばれ ゆうの家」の横断幕の前で、施設建設募金パンフレット用の写真撮影もしました。もちろん合い言葉は「募金お願いします〜！」(ホントはもっと短いことばでしたが)スマイルでした。(田野 静江)



①施設建設に向けて

- ・基本構想について事前協議を重ね、市と県に対して「施設建設計画書」を提出。今後は建設委員会を集中して開き、より詳しい施設内容・管理運営方針の検討と施設の基本設計について検討し、年内には「補助協議書」を提出する予定です。
- ・施設建設募金用のカラーパンフレット30000枚が出来上がります。
- ・会員・関係者の皆さんには引き続きの取り組みをお願いしていきます。

②共同作業所ゆうの家 近況報告

- ・8月29日 真岡・なずなの会より36名見学。
- ・9月5日 栃木市障害者施設協議会(栃障協)の第1回交流会に参加。
- ・毎秋恒例の民生委員との交流会を今年も予定。
- ・12月に開催の「カルフル栃木」(障害者文化祭)にステージ出演予定。練習を重ねています。

③福祉ショップゆうの家 近況報告

- ・ショップの運営委員会を毎月定期的に行っています。ショップの運営状況について話し合われるほか、機関誌はばたけの編集会議も行っている。また、施設開設に合わせて自立の会の記念誌を作成する予定で準備を進めています。
- ・月曜日に新しいボランティア(鈴木さん)参加。引き続きショップのボランティアを募集していく。

④各種イベントなど

- ・栃木市シンボルロード等完成記念イベント
 日時 : 10月27日(金)~29日(日) 10:00~21:00
 出店場所 : 柳つ子広場(栃木山車会館向かい)と三樹屋さん向かいの2カ所。
 出店内容 : もち、ポテトフライ
 数十万人規模の人数が予想されるので、販売体制を十分に確保したい。
 売り上げ目標100万円(収益50万円)
- ・栃木市ふれあいのつどい
 日時 : 11月5日(日) 10:00~15:00
 場所 : 栃木市保健福祉センター
 出展内容 : もち、ポテトフライ、わたあめ、コーヒー、フリーマーケット
 作業所・ショップ展示販売
- ・自立の会クリスマス会
 日時 : 12月10日(日)
 場所 : 大宮公民館・大交流室(予定)
 内容 : お楽しみ会・会食など
 昨年同様、会員のほかにも看護学校実習生、ボランティアなどに案内。

第25回「社会福祉法人・なすびの里」設立委員会 報告

日 時：2000年9月7日（木） 午後7時～9時15分

1. 経過報告

- 西村・佐藤・三澤 理事候補を降ろす。渡辺全一氏 理事候補に推薦。
- 建築は木造で確認 ただし授産施設は木造単体、デイサービスの方は鉄筋の単体で補助。
 - ・食品衛生法についての確認。製パン・製麺、販売方法に関わって。
 - ・建設資金計画 栃木市の補助 木田市議会で一般質問
- 7月25日（火）円光寺自治会との交渉・施設建設に同意することを了承していた。
- 8月7日（月） 栃木市・福祉課橋本課長との交渉
 - ・計画書と要望書の提出
 - ・栃木市としても建設費補助を出すことを検討していく方向を示す。
- 次回は福祉部長も交えて交渉する予定。
- 8月8日（火）横浜・セerp杜見学（資料参照）
- 今後の動きで重要なのは、土地の解借と用水路への排水の同意をもらうこと。

2. 施設建設基金報告

3. 福祉施設整備計画書

医療事業団からの借入金償還計画

実際に借入できる金額について 法定補助金以外の費用の80%まで借入可。
作井工事・外溝工事も対象に入る。

4. 授産課目とデイサービスの内容

授産課目については現行のものに加えてパン・うどんづくりに取り組む。必要な設備とスペース。
デイサービス どのような日中活動を考えていくのか。それに必要なスペース・設備は。

東京・府中共同作業所での実践、どんなに障害が重くとも「労働」を保障する姿勢が必要。

5. 中央設計より説明

・施設建設工事 工程表（資料参照）

今年度は 9月半ば 協議申請 事前協議申請

11月末～12月 協議申請（平面図・面積等を含む）

そのための設計打ち合わせが必要 授産課目によって、仕切等をどうしていくのか。
現場職員・保護者・利用者の声を聞きたい。

県との事前協議には何回も足を運ぶ必要がある。誰がどう進めていくのか → 谷田・殿原

- ・建設委員会も、今後は組織化して役割分担をしていく必要がある。
- 6. 施設長の人選について
 - ・鈴木氏（こぶし作業所）へ要請。こぶし作業所での20年の先進的な経験を活かしてほしい。
 - 家庭の状況などもあり、明確な返答はもらえなかった。継続して要請していく。
- 7. 理事について
 - ・近年の指導によると、新法人の理事者は6名程度に押さえるように言われているようだ。
 - ・地域の意見を反映させるためには、評議会を作るように。

■ 自立の会・ゆうの家 10・11月の予定 ■

- 10月1日（日） けやきまつり出店・車いすダンス発表
- 4日（水） ショップ運営委員会
- 7～8日（土・日） 県南高等学校看護学院秋祭出店
- 15日（日） 車いすダンスサークル
- 19日（木） 第26回社会福祉法人なすびの里設立委員会
- 21日（土） 自立の会役員会
- 22日（日） 共作連栃木支部学習会『どう変わる、小規模作業所』
- 27～29日（金～日） 栃木市シルクロード等完成記念イベント

- 11月5日（日） ふれあいのつどい
- 12日（日） 蔵の街マラソン出店
- 17日（木） 第27回社会福祉法人なすびの里設立委員会
- 18日（土） 自立の会役員会
- 19日（日） 栃木養護学校学校祭出店

◎ご協力ありがとうございました。

夏の商品販売 収益約 67,000円

福祉ショップゆうの家から

いらっしやいませ、福祉ショップゆうの家です。4月から関谷真知子さんが店長としてお母さんと一緒に店番をしてがんばっています。

お店にはゆうの家の仲間たちが作業所で作った作品や、こぶし作業所・ひまわり作業所・みよしの里・結城あすなろ学園など各作業所の作品がたくさんおいてあります。また、保護者やボランティアの手作りの品として、さをり織り・レザー品・ビエロ人形・どらえもんやピカチュウ人形など色々ございます。共同作業所全国連絡会（共作連）の企画品としてTシャツ（トトロ・仲間など）・バスタオル・エプロンなどもあります。

そして、なんといいともお店の目玉品は、自立の会の畑で星さんが作って配達してくれる野菜です。ジャガイモ・なす・キュウリ・モロヘイヤ・大根・ブロッコリー・セニョールスティック・オクラ・インゲン・トウモロコシ・人参など、季節の合わせてできる野菜は、星さんが出勤前に朝早く収穫してお店の前に並べてくれるので、とっても新鮮でしかも安いとお客さんに大人気です。

毎日真知子さんが皆さんのお越しを楽しみに待っています。どうぞお気軽にお茶でも飲みに来て下さい。（山中よしえ）

施設建設募金のカラーパンフレットができました

十分に活用して、ぜひとも5000万円募金を達成しましょう！